

## Objective

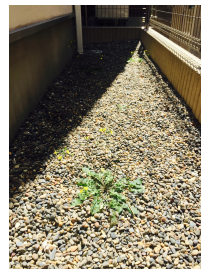
都市における住環境は、歴史的に多くの人口を受け入れていることもあり、高密度化している。その中でも特に戦後建てられた木造建築、特にアパートなどの集合住宅や戸建て住宅が密集している地域では、その居住スペースの通風や採光はあまり恵まれているとは言えないことがほとんどではないだろうか。これらの建築の更新が当然ながら防災という面からしても強く求められている。また、それらの多くは空き家になっている事も大きな問題となっている。このような状況下でどの様にして安全性を保ちつつより快適な暮らしを実現する為の住まいへと建て替えていくべきかということが今日問われている。その問いとも言える課題を解決すべく一つの住宅においてその居住性を高める試みを行ったプロジェクトである。

## Goals

基本的な考え方の柱として、条件的にあまり恵まれていない場合においても住環境をより良いものとして構築していく為に、その住居を機能面で優れたデザインを行う事により快適な生活を実現することが可能であると思う。なぜならどんな敷地の上にも太陽は降り注ぎ、雲は流れ月明かりが射し込んでくる空があり、そしてその空には必ずといっていいほど風が吹いているのである。

# ヨットの家

## Jiro Awano



## Solution

高い建物にあたった風や建物と建物の間に吹く風、光が射し込む様な位置に開口を作り、それらを効果的に取り込み北側は敷地境界からセットバックしたり屋根の形状を工夫するが、北側の隣家外壁にあたった日差しの反射光を上手く取

っていく。また天窓を効果的に多用し、そしり込む。

て階高を高くする事により開口の位置を高い位置に作る。その分

## 今後の目標

快適な住環境とはどういったものか？という素朴なことから建築を考えて行きたい。また、人が幸せに暮らすとはどういったものかという事も併せて考えて行きたい。例えば、長生きする暮らしとはどういったライフスタイルなのか？また、長生きする事が果たして幸せなのか？

建築だけでなく、まちづくりの視点や医療面からのアプローチなど新たな建築の世界を切り拓いていきたい。

## Project Outline

木造二階建て、ツーバイフォー工法 仕上げ：内外装は一部を除き漆喰仕上げ

基本設計、及び構造設計、詳細設計監修 粟野寿朗

敷地面積；112.25㎡

建築面積；100.88㎡

所在地；東京都江戸川区

用途；住宅

粟野 寿朗  
東京都生まれ